

# エコアクション 21 環境活動レポート

令和6年度版



対象期間

令和6年9月～令和7年8月



作成日

令和7年10月1日

# 1 事業活動の概要

(1) 事業所名 及び 代表者氏名

株式会社 カナイワ  
代表取締役 普輪崎 賢彦  
e-mail kanaiwa@kanaiwa.co.jp

(2) 所在地

本 社  
〒921-8027 金沢市神田2丁目9番19号  
TEL 076-244-6447 FAX 076-244-6407

事業本部・白山営業所  
〒924-0028 白山市相川新町728番地  
TEL 076-275-8424 FAX 076-275-8349

(3) 事業所概要

創 業	大正12年9月
設 立	昭和36年4月
資 本 金	3,190万円
社 員 数	43名
売 上 高	1,029,389千円
事業所の延べ床面積	1,576m <sup>2</sup>

(2025年8月末時点)

(4) 事業概要 (認証登録範囲)

井戸工事、地質調査、地中熱工事、接地工事、斜面防災工事、  
建設機械修理、地下水を利用した給湯・空調工事、及び産業廃棄物収集運搬業

(5) 環境管理責任者氏名 及び 担当者連絡先

環境管理責任者 : 取締役 南 幹雄  
TEL: 076-274-4902 E-mail: k-maeda@kanaiwa.co.jp  
事務担当者 : 六田嘉子  
TEL: 076-274-4902 E-mail: y-rokuta@kanaiwa.co.jp  
竹多友理恵  
TEL: 076-275-8424 E-mail: y-takeda@kanaiwa.co.jp

(6)-1 許可及び登録(建設業 その他)

● 一般建設業……	県知事 (般-29)904	R4年3月10日更新 (有効期限: R9年4月19日まで)
土木工事業、とび・土工工事業、管工事業、 さく井工業、水道施設工事業		
● 地質調査業……	国交大臣 質24第381号	平成30年12月更新 (有効期限: R9年12月25日月)
● 測量業……	国交大臣 29059号	令和5年12月更新 (有効期限: 令和10年12月)
● ISO 9001認証登録	認証登録番号 Q13358	2023年9月更新 (有効期限: 2026年9月)
さく井・温泉工事、地下水処理工事、地すべり工事、 地盤改良工事を含む土木工事及び付帯工事 地質調査、建設機械メンテナンス		
● エコアクション21	認証登録番号 0007454	令和5年9月更新 (有効期限: 令和7年9月)更新 中
井戸工事、地質調査、地中熱工事、接地工事 斜面防災工事、建設機械修理 省エネ給湯・空調設備工事および産業廃棄物収集運搬業		

(6)-2 許可及び登録(産業廃棄物)

● 産業廃棄物収集運搬業	県知事01702001469
許可年月日	令和4年7月3日
更新年月日	令和4年8月8日
有効期間	令和9年7月2日
積替え、保管を除く 汚泥、廃プラスチック類、金属屑、硝子コンクリート陶磁器屑、瓦礫類 * : 自動車等破砕物、石綿含有産業廃棄物、特別管理産業廃棄物を除く	

## (7)-1 施設等の状況

さく井工事	さく井機	11台
	高圧コンプレッサー	4台
地盤改良工事	地盤改良機	0台
	プラントマシン	0台
地質調査	地質調査機	3台
その他	4tユニック	2台
	工作機械	1式

## (7)-2 施設等の状況(産業廃棄物)

産業廃棄物 収集運搬車 (登録車)	バキュームダンプ(8.5t)	1台
	バキュームダンプ(2.6t)	1台
	ダンプトラック(3.8t)	0台
	ダンプトラック(2.0t)	0台
	4tユニック(2.6t)	2台

## (7)-2-2 処理実績

令和6年4月から令和7年3月

(単位;t)

産業廃棄物 収集運搬量 (受託分)	建設汚泥	486
	co殻	6.00
合 計		492
産業廃棄物 収集運搬量 (自社分)	建設汚泥	426
	アスファルトガラ、コンクリガラ	17
合 計		443
総 合 計		935

## (7)-2-3 廃棄物収集運搬料金

料金については運搬距離、運搬通路により異なるため  
その都度の見積もりによる

## (8) 認証登録範囲

- ・全組織: 株式会社カナイワ本社、事業本部、白山営業所
- ・全活動: 井戸工事、地質調査、地中熱工事、接地工事、  
斜面防災工事、建設機械修理、省エネ給湯・空調工事  
及び産業廃棄物収集運搬業

## 2. 環境経営方針

当社、株式会社カナイワは地下水・地盤の安定化に係る工事、地質調査、並びに二酸化炭素削減に配慮した給湯・空調設備工事の事業活動で発生する環境負荷を低減するために環境経営方針を以下に定め、全社員が創意と工夫により積極的に活動を取り組みます。

1. 当社の活動及びサービスに係る環境側面を認識し、エコアクション21を構築し継続的改善を図る。
2. エネルギー及び資源の排出状況を把握し、その負荷軽減のための取り組みを行う。
  - ① 産業廃棄物の分別・適正処理により資源の適正利用を図る
  - ② 車両、重機等の燃料消費量の削減に努め、二酸化炭素の排出量削減に努める
  - ③ お客様への地下資源の有効利用のための提案(二酸化炭素排出量低減の提案)を行う
3. 環境に関連する法令、条例及び受入を決めたその他要求事項を遵守する。
4. 環境教育により、社員の意識向上と、行動につなげる。
5. この環境方針は、当社従業員に二酸化炭素削減を周知するとともに、環境レポートの公開により一般にも公開する。

令和3年9月1日  
株式会社カナイワ  
代表取締役 普輪崎賢彦



地中熱を利用した消雪装置の実験

# SDGsの取組み

株式会社カナイワは、SDGs(持続可能な開発目標)の理念に賛同し、  
当社の事業活動を通じて、持続可能な社会づくりに取り組みます。

令和3年9月1日  
株式会社カナイワ  
代表取締役 普輪崎賢彦

## 【重点推進項目】

### 1. 事業活動を通じたインフラの整備により持続可能な社会づくりに貢献します

- ・地下資源(地下水)の有効活用を通して、環境に優しく人々が安心して住み続けられるまちづくりに取り組みます。



- ・地中熱(地下水)を利用した空調設備等の普及促進を通して、CO<sub>2</sub>の排出削減に努めます。



### 2. 資源の適正利用・廃棄物の適正処理、リサイクルの推進による地球環境の保全に努めます エコアクション21の活動と通じて下記の行動に取り組む

- ・資源の有効活用
- ・廃棄物の適正処理・有効利用の推進
- ・二酸化炭素排出量の削減
- ・エコドライブの推進(石川県エコドライブ推進事務所)



### 3. 人材の育成と社員の健康・福祉の向上を図り、働きやすい職場環境づくりに努めます

【経営理念】社会に役立つ仕事を通して社員が次世代(社会, 会社, 子供)も考えながら自己実現に向け、  
粋(いき)・活きと活動(希望を持ち幸せを実感)している企業を目指す。

- ・健康経営の取組
- ・時間外労働の削減
- ・職場環境の整備
- ・女性社員の活躍推進

(いしかわ男女共同参画推進宣言企業

「女性活躍加速化クラス」)



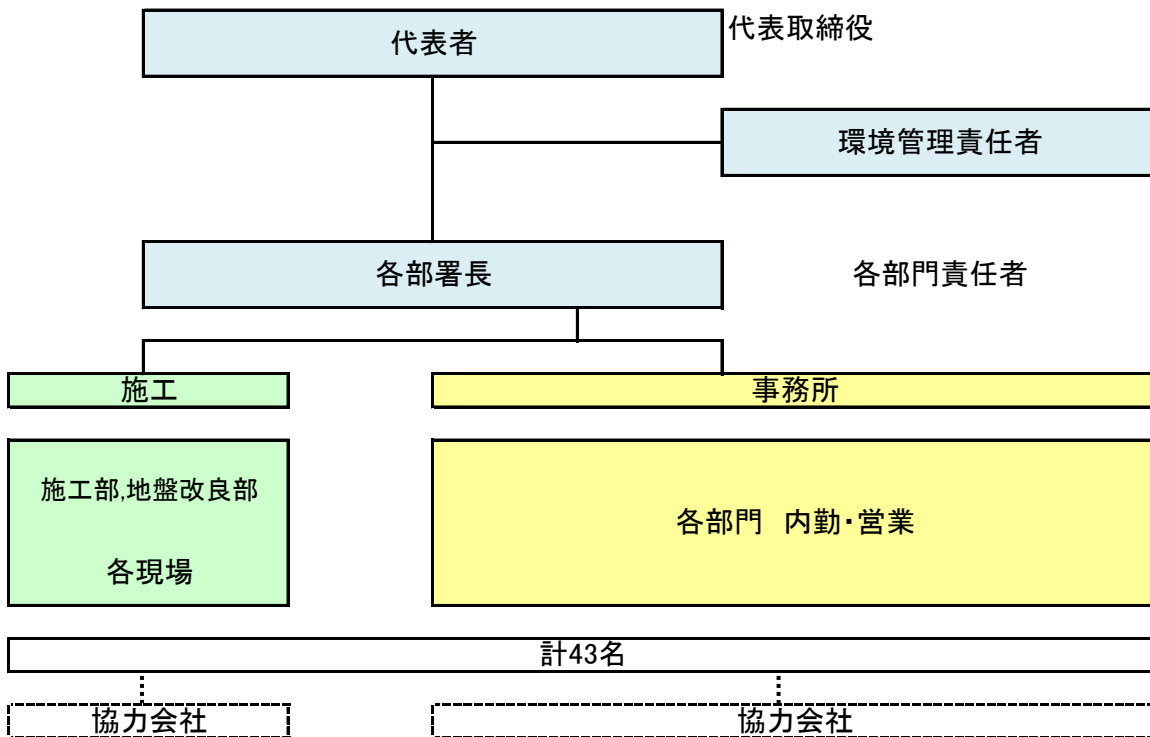
SDGsとは、2015年9月に国連で採択された持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)

のこと。2030年に向け国連加盟の193すべての国が17の目標に取り組み、誰一人取り残さない

### 3.組織図

令和6年8月末時点

## 株式会社カナイワ エコアクション21 推進体制表



#### 【責任者の役割】

代表者	環境方針の制定
	環境管理責任者の任命
	環境保全に関する人、もの、金の提供
	エコアクションシステムの見直しをする
環境管理責任者	エコアクション21活動責任者
	環境活動レポートの作成、公開
	環境目標、計画の作成と進捗管理
	環境関連法律の順守評価
各部署長	目標達成のための行動目標作成
	環境活動の推進・実行・管理
事務担当者	環境管理責任者の補佐
	進捗管理のデータ収集、整理

## 4.過去の実績と環境経営目標

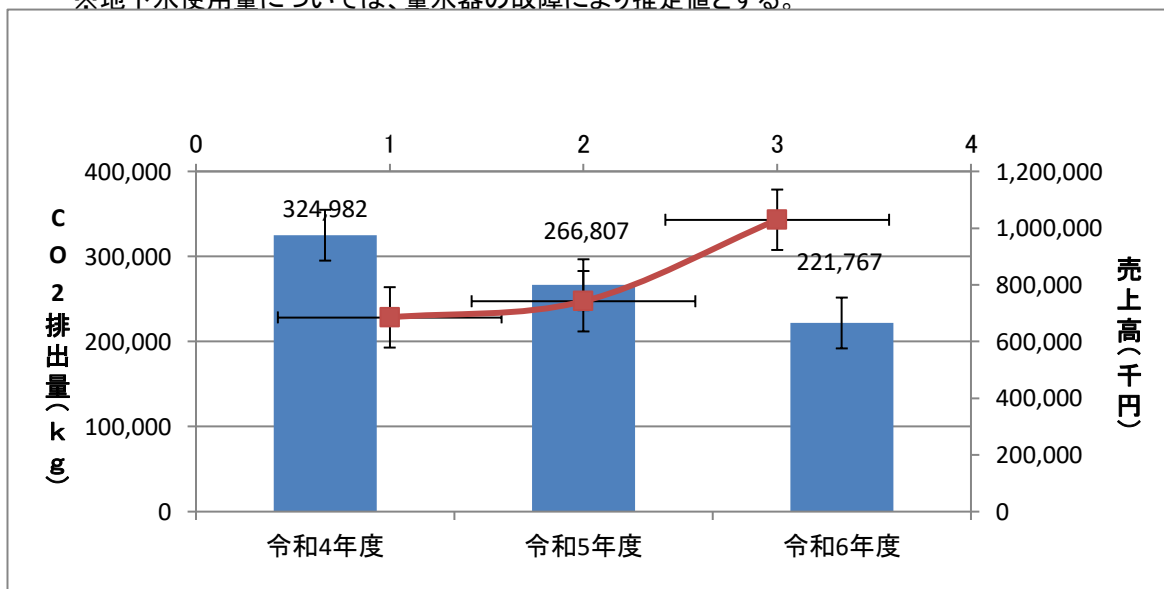
※購入電力の二酸化炭素排出係数(調整後排出係数使用)

(1) 過去の実績

2021年度～:中央電力㈱・・・0.483kg-CO<sub>2</sub>/kwh(調整後係数)  
過去3年間(R5.9～R7.8)の実績

項目	単位	内容	過去3年間の実績値				
			令和4年度 (R4.9～R5.8)	令和5年度 (R5.9～R6.8)	令和6年度 (R6.9～R7.8)		
二酸化炭素 排出量	kg-CO <sub>2</sub>	電気	事務所	9,456	6,846	7,436	
			施工	27,664	21,451	19,060	
			合計	37,120	28,297	26,496	
		化石燃料	事務所【車両】	67,604	64,079	63,515	
			事務所【その他】	6,692	7,059	3,675	
			施工【車両】	71,278	51,409	48,694	
			施工【重機等】	142,288	115,963	79,387	
			合計	287,862	238,509	195,271	
		全体合計			324,982	266,807	221,767
		kg-CO <sub>2</sub> /百万円	排出量原単位	474	360	297	
産業廃棄物	t	排出量	461	-	443		
	%	リサイクル率	99.9	-	95		
地下水 使用量	m <sup>3</sup>	社内での 地下水使用量	1,739	-	808		
お客様へのCO <sub>2</sub> 削減 提案実績	件	年間の提案件数	-	-	20件		
売上高	千円		685,134	742,080	1,029,389		

※地下水使用量については、量水器の故障により推定値とする。



(2) 中期目標

- 二酸化炭素排出量は、化石燃料についてはガソリン、軽油、灯油、LPGとし  
購入電力については、施工、事務所に分けて管理する。  
基準値を令和3年度の実績値とし、毎年1%削減を目標とする。

項目	単位	内容	基準値	目標値			
			令和5年度 (R5.9~R6.8)	令和6年度 (R6.9~ R7.8)	令和7年度 (R7.9~ R8.8)	令和8年度 (R8.9~ R9.8)	
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	電気	事務所	7,686	7,609	7,533	7,458
			施工	22,663	22,436	22,212	21,990
			合計	30,349	30,046	29,745	29,448
		化石燃料	ガソリン	63,500	62,865	62,236	61,614
			軽油	135,276	133,923	132,584	131,258
			灯油	5,045	4,995	4,945	4,895
			LPG	306	303	300	297
	合計	204,127	202,086	200,065	198,064		
	全体合計	234,476	232,131	229,810	227,512		
	kg-CO <sub>2</sub> /百万円	排出量原単位	316	313	310	307	
産業廃棄物	t	排出量	461	産業廃棄物の適正管理			
	%	リサイクル率	99.9	95	95	95	
地下水 使用量	m <sup>3</sup>	社内での 地下水使用量	1,739	適正利用に努める			
お客様へのCO2削減 提案実績	件	年度毎の 各施設合計値	16件	17	18	19	
売上高	千円		742,080	742,080	742,080	742,080	

事務所; 事務部門、技術、省エネ

施工; さく井工事、地下水位低下工事、アンカー工事、接地工事、水抜き工事

- ・二酸化炭素排出量は、基準年度の実績を基準に毎年1%の削減を目標にし、施工と全体に関しては売上高百万円当たりの排出量を毎年1%削減することも目標とする。
- ・産業廃棄物排出量に関しては、リサイクル率を95%以上に維持することを目標とする。
- ・地下水使用量に関しては、事務所の使用量を毎年1%削減することを目標とする。
- ・購入電力の二酸化炭素排出係数は中央電力(株)は 0.483 kg-CO<sub>2</sub>/kWh(2021年度調整後係数)を使用する。
- ・省エネ・環境部門・ソリューションサポート室における顧客への提案件数を確認する  
削減提案件数は毎年1件増加を目標とする。
- 化学物質使用したは実数把握。

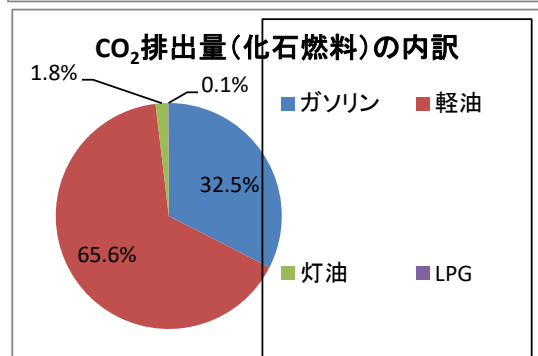
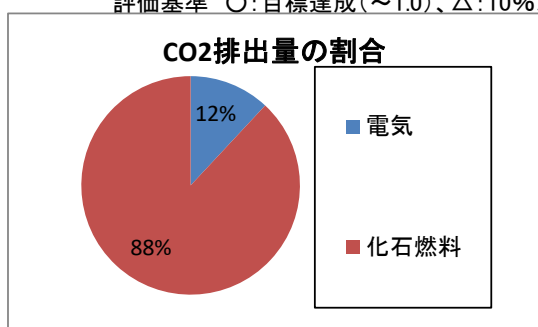
(3) 令和3年度の目標/実績と評価

※購入電力の二酸化炭素排出係数(R1年度調整後排出係数)

2021年度～:中央電力㈱・・・0.483kg-CO<sub>2</sub>/kWh(調整後係数)

項目	単位	内容	令和6年度 (R6.9～R7.8) 目標値	令和6年度 (R6.9～R7.8) 実績	評価	
二酸化炭素 排出量	kg-CO <sub>2</sub>	電気	事務所	7,609	7,436	0.98 ○
			施工	22,436	19,060	0.85 ○
			合計	30,045	26,496	0.88 ○
		化石燃料	ガソリン	62,865	63,515	1.01 △
			軽油	133,923	128,081	0.96 ○
			灯油	4,995	3,553	0.71 ○
			LPG	303	122	0.40 ○
	合計	202,086	195,271	0.97 ○		
	全体合計	232,131	221,767	0.96 ○		
	kg-CO <sub>2</sub> /百万円	排出量原単位	471	215	0.00 ○	
産業廃棄物	t	排出量	適正処理	443		
	%	リサイクル率	95	95	○	
地下水 使用量	m <sup>3</sup>	社内での 地下水使用量	適正使用に 努める	808	-	
化学物質使用量	kg	塗料関係	実績把握	278	-	
お客様への提案による CO <sub>2</sub> 削減寄与	kg-CO <sub>2</sub>	CO <sub>2</sub> 削減につながる 提案件数	実績把握	20	○	
売上高	千円		742,080	1,029,389	1.39 ○	

評価基準 ○:目標達成(～1.0)、△:10%以下の未達成(1.0～1.1)、×:10%超の未達成(1.2～)



①カナイワの今年度のCO<sub>2</sub>排出量割合は、

- ・電気 約12%
- ・化石燃料 約88%

②CO<sub>2</sub>排出量のうち、化石燃料に関するCO<sub>2</sub>排出量の内訳は

- ・ガソリンが 約32.5%
- ・軽油が 約65.6%
- ・灯油が 約1.8%
- ・LPGが 約0.1%

③産業廃棄物は主に、さく井工事に伴う泥水である。

④お客様への省エネに関する提案について、今年度の提案件数は20件実施できた。

## 5.環境活動計画とその実施状況及び次年度の取組

	具体的取組内容	評価	次年度の取組	担当部署
二酸化炭素 排出量削減	車両の適正運転(エコドライブ)	○	継続	全員
	車両駐車時のエンジンストップ	○		全員
	空調温度管理(28℃、20℃)	○		事務所
	車両の効率的運行(配車、コース)	○		全員
	照明の管理(無駄な照明の消灯)	○		事務所
	OA機器の電源管理	○		事務所
	夏場の屋根地下水散水による冷房抑制	○		事務所
	発電機・ユニック・コンプレッサー等の こまめなアイドリングストップ	○		施工
	現場発電機について商用電源利用の促進	×		施工
	グリーンカーテン実施による夏季の冷房抑制	×		事務所
一般・産廃廃棄物 排出量の削減	分別回収の徹底	○	継続	全員
	社内メールによるペーパーレス化	○		事務所
	コピー用紙裏面利用	○		事務所
	両面コピー利用	○		事務所
	リサイクル用品使用	○		事務所
	廃棄物処理方法の変更をしたり、分別廃棄の徹底を行い、廃棄物を資源化できるようにしている	○		施工
	3S(整理・整頓・清掃)活動を実施している	○		施工
	クレームによる再工事等が発生しないよう施工等における品質管理に努めている	○		施工
	パソコンの修理可能な故障の自社修理	○		事務所
水使用量の削減	井戸水のメーター管理	×	継続	全員
	トイレ、洗濯、流し台での節水	○		事務所
グリーン購入	エコマーク商品の購入	○	継続	事務所
化学物質の 数量管理	SDSにより該当化学物質を抽出し、 年間使用量を集計	○	継続	事務所
お客様への CO <sub>2</sub> 削減寄与	お客様への環境関連補助制度の利用提言	○	継続	営業
	お客様への給湯・空調設備の省エネ提案	○		営業

## 6.見直し

- 代表者による見直し  
代表者による見直しを実施する

- 問題点の是正

問題点

- ①環境関連の苦情が顧客や周辺地区から発生した場合
- ②法規項目の遵守に支障が出た場合
- ③環境活動計画の目標が達成できない場合

以上の問題点が発生した場合速やかに環境管理責任者は社長と協議し、是正を行う。

日付 2025/10/1 (水)  
代表者 普輪崎賢彦

問題点の是正を評価し、見直しを行う

評価：（問題点の内容、状況、原因など）

【全体の評価】

1. 新型コロナによる事業への影響はすくなかったが、公共工事において一部遅れが出ている。
2. エコアクション21活動では、電気や軽油等の事業活動に伴う二酸化炭素の排出削減の取組目標はほぼ達成することができた。要因は社員の環境に対する意識の高まりによるものと思われる。引き続き仕事においてムリ、ムラ、ムダを減らし常に意識を持って取り組んでもらいたい。
3. 最近、異常気象現象により、電気料金やガソリン等燃料価格の高騰による脱炭素社会（カーボンニュートラル）の実現に向けて、企業の節電、省エネに対する意識が高まってきている。当社の蓄積した環境技術を活用した、井水式冷暖房システムに対する相談が数多く寄せられてきているので、当社としても今後力を入れていきたいと考えている。また、SDGsにも貢献できるようエコアクション21環境マネジメントシステムを通して、より企業価値向上に取り組んでいきたい。

見直し：（目標・方針の見直し）

目標：二酸化炭素の排出削減に係る目標は、継続的に進めていくことが必要であるため引き続き1%削減を目標に進めていく。

・方針及び活動計画の見直し

・環境経営方針及び活動計画は、特に変更する必要はないが今後の社会の状況等を踏まえていく。また、実施体制も人的資源が限られているため現状のままで行く。

指示：（是正処置）

3. 施工手順の確認や複数人による検討などを行い、手戻りがないように最善を尽くしてもらいたい。作業効率化による省エネ、省資源化の実施に取り組む。

## 7.環境関連法規の遵守評価並びに違反、訴訟等の有無

確認者：環境管理責任者 取締役 南 幹雄

確認日：令和7年8月末

適用法規	概要	項目	チェックポイント	確認事項	順守状況
廃棄物 処理法	運搬・処理等 の許可	収集運搬	許可車の使用 事業者名の表示 内容書面を携帯	バキューム 表示確認	○
		処理委託	委託契約	契約先の確認	○
	産廃管理	マニフェスト 管理	交付・保管・報告 5年間保存	台帳の確認	○
建設 リサイクル法	分別		発注者報告 再資源化実施		○
騒音 規制法	特定建設 作業に伴う 騒音の抑制	事前届出	7日前までに届出	各現場毎	○
		指定区域	指定区域の確認		
		基準の遵守	基準の遵守		
			《騒音規制のしおり》		
振動 規制法	特定建設 作業に伴う 振動の抑制	事前届出	7日前までに届出	各現場毎	○
		指定区域の確認	指定区域の確認		
		基準の遵守	基準の遵守		
			《振動規制のしおり》		
道路運送 車両法	環境保全 (公害防止)	点検・整備	3ヶ月	毎月 1日に点検	○
道路交 通法等	道路障害 防止	過積載			○
地下水採 取条例	地盤沈下 の防止	指定区域 届出	金沢・内灘・七尾・白山・津幡	各現場毎	○
浄化槽法	生活排水の 浄化処理	設置届け		点検報告書 検査報告書	○
		維持管理	維持管理記録 法定検査		
PRTR法	対象化学物 質の管理	集計・報告	対象製品の使用量と 化学物質の重量集計	年間1t以下	○
オフロード法		排出ガス対策型		各現場毎	○
		機械の使用			
フロン排出 抑制法		使用時	点検・整備・報告	点検表	○
		廃棄時	フロンの回収		
家電 リサイクル法		廃棄時		随時	○

関係当局からの違反、訴訟等はありません

苦情等また関係機関等からの指摘等もありません

## 8.教育訓練の実施

### 教育訓練項目

1	項目	環境方針及びの策定・周知
	実施日	2025/9/1~9/16
	対象者	全社員
	評価(内容)	①各部署(部屋)での環境目標の掲示 ②具体的取組事項の掲示 ③エコドライブ等のパンフレット掲示 (1F休憩室:ホワイトボード)

2	項目	環境上の緊急事態の訓練
	実施日	-
	対象者	全社員
	評価(内容)	新型コロナ拡大防止のため 今年度の教育訓練は中止

3	項目	環境目標の達成状況の把握・見直し
	実施日	2025/9/30
	対象者	代表者/環境管理責任者
	評価(内容)	①9月~3月期間中の環境負荷の集計・評価

4	項目	具体的取組事項の実施状況の把握
	実施日	2025/9/30
	対象者	全社員(環境管理責任者による確認)
	評価(内容)	

## 9. SDGsへの取組

株式会社カナイワの事業活動により、地域社会貢献や持続可能な社会づくりに取り組んでいます。

### ●新システムの省エネ提案（水処理とヒートポンプの一体型システム）



### ●地下水を利用した新省エネ空調システムの提案



- ・地下水を利用して冷房するため、排熱がありません。
- ・電力消費は水循環及びファンモーターのみのため電気代が大幅に節約できます。



### ●微酸性電解水の無料配布（地域社会貢献）・生成装置の設置提案



### ●LoRa無線を使用した遠隔稼働監視システムの提供によるエネルギー使用の見える化、効率的な運転管理の提案

